

例 會 記 事

大正五年二月十二日(土曜日)午後一時より講堂に於て理科學術談話會を開く。乙部部長は開會の辭につぎて去る一月廿六日に會長より本部へ金參圓寄附せられたるを受領せられし事及び本月中旬に第二回學術談話會總會を開かるべき旨を報告せられ終て次の講演ありたり。

1. 天氣豫報 理一四 石塚。小倉。中佐。長岡。
2. 地球の年齢 理二四 櫛山。山田。小林。木村。
3. 銚の子の話 理二四 矢吹。
4. マツダランプ 理一四 足立。木津。
5. 岩川先生の御話。

乙部教授は興味ある玩具を數多準備せられしも當日は講演を見合し後日に譲ることゝせられたり。

閉會に臨み乙部部長は岩川教授の御話に基きて從來にも御話の如き例を屢々見たることあり今回の記事は其最近の一例なりとて今後の注意を促され且講演の事柄を會報に掲載せむとする場合には使用したる参考書を書き添ふべき事とせられたり。

本日出席せられし客員及び賛助員は下の如し。

岩川教授 平田教授 森教授

理 科 部 會 報 第 二 十 號 目 次

1. 例會記事	1
2. 講 話 沐浴に就きて	2
火藥ニ就キテ	9
地球の年齢	18
マツダランプ	32
岩川教授の御話	39
3. 寄 書 幻平方(Magic Squares)ニ就キテ	45
4. 轉 載 中等學校數學教授視察復命書(官報抄録)	51
物理學ノーベル賞與	55
5. 總會記事	58
第二回總會に於ける理科部報告書	59
正 誤	60
會費受領報告	60

矢部教授	乙部教授	近藤教授
碧海講師	江澤駒路	石川ふさ
沼野はるゑ	星キイ	鈴木すい
安井とく	沼野はな	の諸氏。

講 話

沐浴に就きて

理二四 {本間 井上 永井
阿部 宮坂

古代開化の民は皆其當時の文明を種々の事蹟に残したるが其の中人の目をひくものは上水道と浴場との設計なり。

古代のエヂプトにては紀元前一千五百年頃己に皮膚の清潔を公法的に行ひたり又ギリシヤにてはアリストテレス、ピタゴラス、プラトウの如き大學者は何れも民の健康を計るを以て國家の務めなりと主張して體育に向ひ全力を注ぎたるは歴史上にも明なり而して身體健康法を企圖して一方浴場の設置せらるゝに至りその結果一般人民は浴の効力を認めて浴の病を治したる身體の疲れを恢復する作用は平凡なる醫師の及ばざる所なりと考へたり。ローマにては紀元前六百十四年にアングスマルテウスが大々的の水道を設計して市内の浴場に充

分水を供給したり當時の王は大浴場を設置して各々自分の名を付して後世に残したりネロ、アウグスタスの如きは最も有名なるものなり。

我が國の沐浴の起源は神代七代の末頃なりと傳へらる當時は神前に身の汚穢を去りて出る習慣を指すものならん沐浴が健康法の一として用ゐられし例はかの榮華物語中に「九條殿なやましうおぼされて御風などいひておほしゆゝでなどしてすぐさせ給ふ云々」とあるを見れば此の時代には已にありたるなり又鎌倉時代には風呂と云ふ言葉あり徳川時代の初頃には之が營利的に行はるゝに至り入浴の他に嗜食をも行はれたる様なりこれが今日の銭湯の先導者ならん。

沐浴の種類

沐浴を形の上より分くれば槽浴、游泳浴、洒浴等あり槽浴は一般に用ゐらるゝものにて湯舟を用ふ游泳浴は一層湯舟を大にして泳ぎまはる事を得しめ入浴と游泳との効を同時になし得るものなり又洒浴は如露の口の如きより浴湯を出すものにて極めて清潔なり。

槽浴は洒浴と異りて浴水をば一人毎に取換えざるゆゑに多人数が入浴するにつれて漸次汚穢せらる特に家庭の風呂に甚しこれ浴水量は新しく注ぎ込まるゝ事なく次第に減少して續々汚染せらるゝによる銭湯は一見